

2023年 4月27日

2022年度 総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類 ※該当する()に ○を付ける	・共同研究(○) ・個人研究()	
研究代表者 (所属・職・氏名)	文芸学部・教授・岡田ひろみ	
研究課題名	共立女子大学図書館所蔵古典籍の書誌学的調査および研究	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
堀新 土田牧子 近藤壮 咲本英恵 飯田さやか	文芸学部・教授 文芸学部・准教授 文芸学部・准教授 文科・専任講師 本学非常勤講師、大妻女子大学草稿・テキスト研究所非常勤助手	史書研究 近世・近代楽書研究 絵入り本研究・古典籍展示企画・管理 中古・中世古典籍研究 中世・近世古典籍研究・データベース
研究期間	2022年4月1日 ～ 2023年3月31日	

研究実績の概要(1)

本学図書館は多くの古典籍を所蔵するが、書誌学的調査の上で作成された目録は、『共立女子大学図書館所蔵 和装本目録―第一―』(1996年)のみであった。そこでは、このたび、この目録未掲載の古典籍(和装本)を中心に、調査・研究をすすめた。

具体的には以下の通りである。

目録作成

- 1) 八王子貴重書室所蔵にて、『目録―第一―』未掲載の古典籍(和装本)300点ほどの撮影(表紙、刊記、奥書等)。
- 2) 1)のうち、稀本・善本として学内外に発信すべきと思われる約40点の書誌学的調査を行い、『共立女子大学・短期大学図書館蔵―和装本目録―第二―』(2023年3月)を発行。本書に掲載した古典籍には国内に数点しか確認されていないものもある。一方で、多数の所蔵が確認されるものでも、現在もひろく読者を獲得している作品や状態のよいものについてはとりあげ紹介した。

展示・講演会

- 3) 1)で調査した資料を中心に、学内で和装本展示を行った。
 - ・「鎌倉殿の時代はどう読まれたか」(2022年11月15日～12月17日)
 - (リブコモ4階：堀新監修、当該共同研究協力)

・「書物の中の音楽」（2022年12月1日～12月17日）

（本館1階：当該共同研究主催）

4) 3) との共催の形で、雅楽演奏家であり作曲家でもある真鍋尚之氏を招聘し、雅楽についての講演会を開催した。

・「雅楽の世界～音楽的側面からのアプローチ～」講師：真鍋尚之氏（12月1日）

1年間という時間的制約もあるため目録に掲載したのは40点程度にとどまり、なかには今後、諸本比較したうえで翻刻等が必要なものも多いが、本学所蔵の古典籍（和装本）がはらむ研究の可能性を掘り上げることができたと考える。

※本研究は、「共立女子大学図書館所蔵の古典籍の調査・整理・研究～日本文学・日本美術を中心として～」(2019年度総合文化研究助成共同研究)での調査を更に進めたものである。

研究実績の概要（2）

研究発表(印刷中も含む)雑誌および図書

『共立女子大学・短期大学図書館蔵一和装本目録一第二一』（2023年3月）を発行した。個々の古典籍については、総合文化研究所紀要（2023年度）への成果報告を含め、別途引き続き調査、執筆をすすめる予定である。